医療・介護・健康

Medical, Care & Health

アトピー治療、小児で「新手」

注射剤や飲み薬、効果大きく

アトピー性皮膚炎の子どもにも使える新しい薬が増えてきた。乳幼児や小児で発症することが多いが、新薬を使えるようになって症状が大幅に改善している。従来のステロイド剤で炎症を抑えることが重要だが、効果が十分でない場合の選択肢が広がっている。

「かゆくて眠れない」。三重県の男児（6）は親と一緒に病院を受診した。肌はごわごわとし、かきむしって血がにじんでいた。炎症を抑えるステロイド剤を塗ると、次第に症状は落ち着いた。ところが塗る頻度を減らすと悪化、皮膚をかきむしることを繰り返した。

なかなか改善しない中、医師が提案したのは仏サノフィの注射剤デュピクセント。投与すると肌の状態が良くなり、ステロイド剤を減らしても炎症を抑えられた。

厚生労働省によると、アトピー性皮膚炎の患者は2020年で推計約125万人。乳幼児や小児で発症する患者が多く、根治療法はまだない。

新しい注射剤は炎症に関わるたんぱく質サイトカインの働きを阻害する。ステロイド剤など塗り薬で一定期間改善しない中等症以上の患者が利用できる。

対象患者は2018年の発売当初は15歳以上だったが、23年秋に生後6カ月～15歳未満に広がった。同年12月には体重5キログラム以上15キログラム未満などの患者に使える製剤も発売され、小児への使用が本格的に始まっている。

治療では体重によって2～4週間ごとに皮下注射する。自己注射も認められ、最大約3カ月分を一度に処方でき、通院回数を減らせる。200人以上に処方した東京慈恵会医科大学の石氏陽三講師は「効果が大きいのに副作用は少ない。大人も含め劇的に改善した人が多い」と実感している。

小学生になるとステロイド剤や保湿剤を自分で塗ることもある。ただ、医師の指示通りにしっかりと塗れず徐々に悪化させて、ステロイド剤を減らせない患者も少なくない。石氏講師は「ステロイド剤でうまく管理できなかった患者の選択肢が増えた」と説明する。

飲み薬もある。21年に発売された米アッヴィのリンヴォックや米ファイザーのサイバインコで、対象はどちらも12歳以上だ。米イーライ・リリーのオルミエントは24年3月、2歳以上に対象が広がった。いずれも既存の治療で十分な効果がない場合に利用できる。

みたき総合病院（三重県）の村井宏生小児科医長は「ステロイド剤でのコントロールがうまくいかないけど、注射は嫌だ、という子どもの選択肢になる」と説明する。

子どもにも使える新薬の選択肢は増えた。だが京都府立医科大学の加藤則人教授は「治療の基本は長年の実績があるステロイド剤」と強調する。薬価も低く、患者の金銭的負担は少ない。

アトピー性皮膚炎は乾燥した肌に髪や衣類の摩擦や化学物質による刺激など様々な要因で炎症が起きる。炎症部分をかくと悪化する。加藤教授は「まずステロイド剤で悪循環を止めることが重要」と説明する。その後、ステロイドを塗る回数を減らしたり、その他の塗り薬に切り替える。

ステロイド剤は長期間使うと皮膚が薄くなるなど副作用がある。子どもは効きやすいが、副作用も出やすい。21年には副作用の少ない塗り薬モイゼルトとコレクチムが小児も公的保険適用になった。モイゼルトは生後3カ月から、コレクチムは同6カ月から使える。

石氏講師は「効果はステロイド剤と保湿剤の間くらい。ステロイド剤と異なり、肌のバリア機能も改善する」という。

（藤井寛子）

ここ数年でアトピー性皮膚炎の子どもが使える新薬が増えた＝みたき総合病院提供

高額な薬価、制度を活用

注射剤デュピクセントは製造開発の難しい抗体医薬で、薬価が高い。体重30キログラム以上60キログラム未満の患者の場合、注射剤1本（200ミリグラム）で4万3320円。初回は2本注射し、以降は2週間おきに1本注射するため、最初の1カ月は3割負担では計4本の注射剤だけで約5万2千円になる。

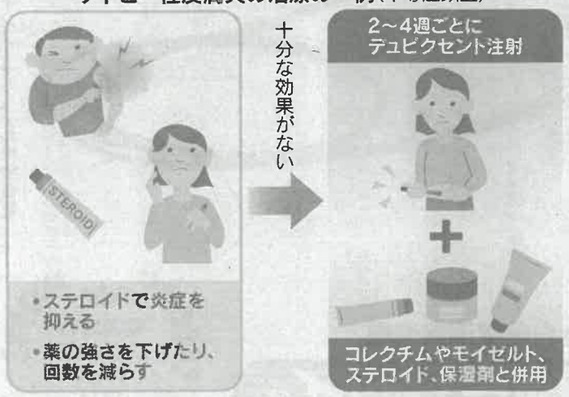
飲み薬リンヴォックも小児は1日1錠（15ミリグラム）約4300円で3割負担では月3万円超だ。

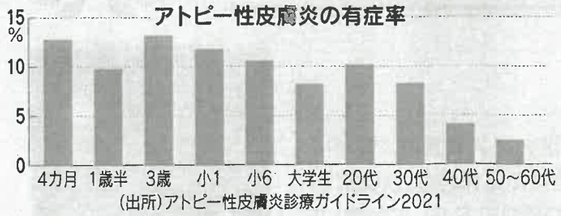
いずれも全身に働く薬で効果確認まで時間を要する。中止時期は専門家も意見が分かれている。小児の医療費助成の対象年齢などは自治体で異なる。費用がかさんでも高額療養費制度を活用できれば、世帯収入別の上限内に負担を抑えられる。

子どもにも使えるアトピー性皮膚炎の新薬が増えている

商品名	会社	種類	対象年齢	効果	副作用
コレクチム	鳥居薬品	ぬり薬	6カ月以上	ステロイドと保湿剤の中間のような働き	ニキビなど
モイゼルト	大塚製薬	ぬり薬	3カ月以上		色素沈着など
ミチーガ	マルホ	注射薬	6歳以上	かゆみを抑える	ヘルペスなど
デュピクセント	仏サノフィ	注射薬	6カ月以上	全身に作用し、かゆみや炎症を抑える	結膜炎など
オルミエント	米イーライ・リリー	飲み薬	2歳以上		血球減少など

アトピー性皮膚炎の治療の一例（中等症以上）





(出所)アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2021